

●大雨でも水害のない市街にしてみたい

Q.

昨年、今年と一時的な局地約 60 mm/1 時間の大雨で新栄町、小舟町とか…度々の冠水に見まわされています。これから増々異常気象で洪水も予想されます。市はまず災害の無い市を作るのが責務と思います。たかが約 60mm/1H 程度で新発田市街冠水とテレビの出るようでは…移住する人も住む人も心配です。

先日東山温泉へ行った時、新発田はさびれていると他県人より聞きました。どこがさびれているのか私にはわかりませんが、市長さんの力を持って災害のない、平和な街作りをお願い致します。乱筆で申し訳ありません。

(令和 6 年 8 月受付)

A.

災害に強い安心・安全のまちづくり、そして市民の皆様の生命と財産を守る、このことが私の責務の第一義であると常に考えており、お手紙を拝見し思いを十分認識させていただきました。

近年の異常気象に伴う記録的短時間集中豪雨や線状降水帯の発生は、日本だけではなく世界各国で頻発している異常事態であります。当市におきましても宅地化による舗装化が進み、ひとたび集中豪雨が発生しますと宅地から水路等への流入量が急激に増加することで、市街地の冠水、湛水、浸水が起こる「都市型水害」の傾向が顕著であります。

しかしながら、何も手をこまねているわけではありません。大雨が予想される際は、排水機場を速やかに稼働させることや要所に配置している排水ポンプや水門を操作することで被害の軽減対策を実行するとともに、「新発田地区防災協議会」と連携し情報伝達の迅速化や緊急現場対応など、適切な初動対応を行う体制を整備しております。加えて、いつでも出動できるよう排水ポンプ車を待機させ、排水先の確保など現場条件を考慮しながら緊急排水対応を行うこととしております。

ご指摘をいただきました市街地は、坂がなく平坦で歩きやすいまちである反面、水路等の勾配が緩い地形的要因から集中豪雨時の冠水をゼロにすることは、対策を講じている現状においても非常にむずかしいと感じております。

市街地にお住まいの皆様には大変御不便をおかけいたしますが、雨が止みますと数時間もたたない間に水は引いておりますことから、災害級の豪雨時には、避難所への早期避難や、建物の 2 階以上に避難いただく垂直避難を実行していただきたいと考えているところであります。

今後もしっかりと対策を継続しながら、市街地の冠水、浸水被害の軽減に鋭意努めてまいります。

(令和 6 年 9 月 5 日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。